

(第五類 第一號)

(五二)

第四十九回帝國議會
衆議院

震災被害地ノ地租免除
法律案(政府提出)

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案(政府提出)
出大正十三年勅令第二十一號(震災被害者ノ營業
稅課稅標準等ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納稅
資格要件ニ關スル法律案(政府提出)

委員會議錄(速)第四回

會議

大正十三年七月八日(火曜日)午後一時二十五分開

議
出席委員左ノ如シ

委員長 磯部 尙君
理事 平沼 亮三君

神谷 彌平君 石川安次郎君
本多貞次郎君 上原 好雄君
石井 謹吾君 湯淺 凡平君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 黑田 英雄君
大藏書記官 藏井 眞信君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案(政府提出)

大正十三年勅令第二十一號(震災被害者ノ營業稅課稅標準等ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案(政府提出)

○磯部委員長 引續キ會議ヲ開キマス

○湯淺委員 最早質問ハ終結ニナツテ居ルサウデアリマスガ、實ハ此法案ニ對シテ私共多少賛否ノ意見ヲ定メルニ付テ重要ナ點ガアリマスノデ、特別ニ今一回質問ヲ御許シテ願ヒマス、此法案ニ依リマスルト地租、第一種所得稅、相續稅

ノ三ツノミガ特別ノ取扱ヲ受ケテ、勅令第四百十號ニ掲載サレタル其他ノ所得稅若クハ營業稅ト云フモノハ、全ク除外サレテ居ル、所ガ此震災ニ依ッテ特別ノ取扱ヲ受ケナケレバナラヌモノハ、必ズシモ此三ツノモノニハ限ラナイ、矢張營業稅或ハ其他ノ所得稅モ同ジデアアルガ、特ニ營業稅ニ於テ甚シイモノガアル、申スマデモナク罹災地營業者ノ受ケタ打撃ハ十三年度ニハ限ラナイ、十三年度ニハ限ラナイ、十二年度ニハ限ラナイ、却テ十三年度以後ニ於テ、寧ロ一層打撃ノ甚シイモノガアルノデハナイカト思フ、然ルニ十三年度ニ於テハ他ノ勅令第二十一號ニ依リマシテ、豫算ヲ以テ其課稅標準ガ定メラレテ居ルカラ、ソレニ依ッテ救済サレルト云フ事實ガナイデハナイ、併ナガラ之ヲ實際ノ問題カラ見マスルト、中々ソレデ以テ救済サレナイト云フコトハ、先日私ガ質問ヲ申上ゲタヤウナ次第アリマシテ、豫算ニ依ッテ申告スル、或ハ其以前ニ於テ、前年ノ實績ニ依ッテ申告スルト云フコトニナツテ居ルガ、此申告ヲ決定サレル場合ニ於キマシテハ、常ニ營業者ト稅務官吏トノ間ニ種々意見ノ衝突ヲ惹起シ、其場合ニハ、何時モ營業者ノ方ガ負ケテシマフ、ト申スコトハ營業稅自體ガ抑モ無理ナ稅法デアリマシテ、若シ此稅法ニ認メラル、通リ、嚴格ニ法文ヲ解釋シテ徵稅サル、ト云フコト

ニナルト、其營業ハ根本カラ破壊サレナケレバナラヌト云フ缺點ガアル、其缺點ヲ營業者ガ持ッテ居ル爲メニ、マサカ權力ヲ以テ壓迫サレルノデハアリマスマイケレドモ、營業者ノ方カラ見マスルト、何時デモ弱者ガ窮メラル、ト云フ立場デ、泣々稅務官ノ決定ニ服從シナケレバナラヌト云フヤウナ例ガ決シテ少ナクナイノデアリマス、ソコデ今年ハ豫算ト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレ等ノ點ハ十分御斟酌下サレルコトト信ジマス、又之ニ對スル先日ノ私ノ質問ニ對スル御答辯ニ依ッテ見マスルト、其關係ハ極メテ圓滿ニ決定サレタト云フ御話デアリマスガ、此法案ガ議會ヘ提案サレマシテ以來、殊ニ東京市ノ營業者カラ吾々ノ手許ヘ色々陳情ガ參ッテ居リマシテ、政府ガ御答辯ナサレタヤウナコトヲ以テ決定サレテ居ラス、隨分苛酷ナル壓迫ニ依ッテ、已ムヲ得ズ此決定ニ調印シタト云フヤウナコトモアリマス、唯此二十一號ノ豫算ヲ以テ課稅標準ヲ定メルト云フコトダケハ、今後當分ノ間ハ打撃ヲ受ケタ營業者ノ苦痛ヲ免ル、コトハ出來マセヌカラ、矢張是ハ勅令第四百十號ヲ其儘ニ活カシテ、營業稅モ十二年度分ニ依ッテ取扱ヲ受ケタヤウナ方法ニシテ、其被害ノ狀況ニ應ジテ免除スルトカ、或ハ輕減スルト云フヤウナ方法ヲ執ルコトニ付テ、何カ政府方ニ良ヘ御考ハナイノデアリマスルカ、之ヲ御伺

致シマス

○磯部委員長 湯淺君ノ今ノ御質疑中ニ、豫算ヲ以テ課税標準ヲ査定スルト云フノハ、勅令二十一號ノ豫算ヲ以テ課税標準ヲ査定スルト云フノハ、大正十三年度分ノ營業稅ニ限ルノデスヨ

○湯淺委員 無論サウデス

○磯部委員長 大正十四年度カラハ實際ノ賣上高ニ依ル、從來ノ課税標準ニ依ルンデスヨ

○湯淺委員 無論サウデス、少ナクモ十三年度分ダケハ是デ救済サレテモ、事實ニ於テハ救済サレテハ居ラス、況ヤ其後ニ於テハ益、元ノ通り苛斂誅求ト云ッタヤウナ非難ヲ免レスコトニ陥ルカラシテ、ソコデ之ヲ救済スル爲ニ、勅令第四百十號ニ於テ、今ノ問題トナッテ居ル法律ニモ矢張營業稅ト云フモノヲ加ヘテ、十二年度ノ取扱方ハ出來スカト云フノデス

○黒田政府委員 只今御尋ノ本案第二條ニ於キマシテ、地租其他ノ租稅ニ付テ規定シテ居ッテ、何故ニ營業稅ハ規定シナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、第一ノ御尋ニ付テハ成程「地租」ト廣ク書イデアリマスガ、其適用ニ依リマシテ、徵收猶豫ヲ致シマスルニハ、先口中上ゲマシタ通り、市町村、市區町村ノ内デ、地租名寄帳ノ減失シタモノニ付キマシテ、地租名寄帳ノ改帳マデ猶豫スルト云フダケデアリマシテ、一般ニ地租ハ本年カラ徵收猶豫ヲ致サナイノデアリマス、又其他ノ稅ニ付キマシテモ、一般的ニ本年以後ノ課稅ニ付キマシテハ、徵收猶豫ヲ致スコトニナッテ居ラスノデアリマスカラ、此點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス、ソレカラ第二ノ營業稅ニ付テ、何故ニ今後モ輕減免除ヲシナイカト云フコトデアルガ、本年ノ營業稅ノ決定ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ勅令第二十一號ニ依リ、豫算ニ依ッテ決定致シタノデアリマスルガ、先日私ガ大體圓滿ニ済ンダト云フコトヲ中上ゲマシタノハ、當時營業者ノ方モ吾々ノ所ヘ見エマシテ御話ガアリマシタ、又今日マデソレニ對シテ色々事ヲ聞イテ居リマスガ、大體減ジ方ガ兩國橋ノ如キハ五割八分二厘マデ減ジテ居ルノデアリマシテ、半額以上ニ減ッテ居ルノデアリマス、其他モ大體半分位ニハ減ジテ居ルノデアリマス、成ベク無理ノ行カナイヤウニ營業者ト能ク話ヲシテ、私モ時々稅務署ヘ行ッテ見マシタガ——勿論附キ切りニ附イテ居ル譯デハアリマセ

スガ、御五ニ話合ッテ、イツモノ營業稅ノ中告ヲ爲スト云フ場合トハ違フ遣方ヲシタノデアリマス、ソレハ兎ニ角既ニ十三年度ハ豫算ニ依リマシデ、震災ノ影響ハ十分現レタル決定ヲスルト云フ趣旨ヲ以テ、勅令第二十一號ニ依ッテ豫算ニ依ルコトニ致シタノデアリマス、ソレ以後ニ付キマシテハ、既ニ震災ノ影響ノ現レタルモノヲ標準ニ致スノデアリマスカラ、更ニ特殊ノ立法ヲスル必要ハナイ、本年ノハ昨年ノニ依リマス、前ニモ申上ゲマシタ通り震災ノ影響ノ無カッタ一月カラ八月マデト云フモノ、成績ガ、本年ノ課稅ニ現レルノデアリマスカラ、此事ハ無理デアラウト云フ考デ致シタノデアリマス、來年ハ震災ノ影響ノ明瞭ニ現レタルモノガ課稅ノ標準ニナルノデアリマスカラ、丁度所得稅ニ付キマシテ、本年ニ於キマシ

テモ特殊ノ立法ヲ致シマセスト同ジヤウニ、明年以後ニ於キマシテハ、其必要ガ無イヤウニ今日モ考ヘテ居ル次第デアリマス

○磯部委員長 地租名寄帳、改帳後一年以内ト制限シタノハドウ云フ譯デゴザイマスカ

○黒田政府委員 地租ニ付キマシテハ一般ノ地租ハ猶豫致シマセデアリマスガ、市區町村ガ持ッテ居リマスル地租名寄帳ヲ減失致シマシタモノハ、名寄帳ヲモウ一遍拵ヘマセスト云フト、市町村ガ地租ノ課稅ノ手續ガ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ土地臺帳ニ依リマシテ、更ニ各人別ニ總テノ土地ヲ集メマシテ、サウシテ所謂名寄帳ヲ拵ヘマシテ、其拵ヘタ地租ノ納期ガ成ベク重複ノナイヤウニ其他ノ方ノモノトモ考慮致シマシテ、一年位ノ間ニ成ベク納稅者ノ苦痛ヲ少ナクシテ納付セシムルヤウニシタノデアリマス

○磯部委員長 サウスルト第二十一條ノ猶豫ハ、救恤トカ恩惠ト云フ意味デハナクシテ、全ク政府ノ都合ダケデ斟酌シタニ過ギナイノデアリマスカ

○黒田政府委員 地租ダケニ付テハサウ云フ風ニナッテ居リマス、併ナガラ所得稅相續稅等ニ對シテハ、前ニモ申上ゲタ通り納稅者カラ一時ニ取ルノハ苦痛デアリマスカラ、納稅者ノ希望ニ依ッテ、五年以内ノ延期ヲ許スコトニ致シタノデアリマス

○湯淺委員 地租ノ事ハ只今委員長ノ御質問デ能ク分リマシタ、ソレカラ是ハ直接關係ハ無イヤウデアリマスガ、十二年度ノ上半期分ノ申告ヲ爲シ

タル者ニ向テハ拂戻ス、申告ヲ爲ササル者ニハ拂戻ラシナイト云フコトニナッテ居リマシテ、其間甚ダ不公平ノヤウニ思ヒマス、既ニ拂戻ス性質ノモノデアレバ、申告ノアルト否トニ拘ラズ、一列ニ拂戻サル、モノデハナイカト思ヒマス、殊ニアノ震災當時ノ狀況ヲ考ヘルト、申告ヲスレバ拂戻ヲ受クルコトガ出來ルト云フコトヲ承知シテ居ル者モアルガ、多數ハ承知シテ居ラヌヤウニ思フ、又申告ヲ爲ス可能ノ者モアリ不可能ノ者モアルノデアリマスカラ、拂戻シラスルト云フコトナラ、總テ同ジヤウニ救済スルノガ至當デアルヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○黒田政府委員 御尋ノ事ハ御承知デモアリマセウガ、營業税法ノ第三十條ニ於テ「前二條ノ規定ニ依リ課税標準ノ更訂又ハ營業税ノ免除ヲ受ケントスルモノハ翌年一月三十一日マデニ之ヲ政府ニ請求スヘシ」次ニ「前條ノ請求アリタルトキハ」云々ト云フヤウニ規定シテアリマス、而シテ其申請ヲ待ッテ處理スルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ全國總テ斯様ニナッテ居リマス、之ヲ申請ナシニスルト云フコトニナリマスト、全體ノ營業者ニ就テ政府ハ取調ラシナケレバナラス、ソレハドウデアリマセウカ、勿論御尋ハ震災地デ非常ニ損害ヲ受ケテ居ル者ナラ考慮シテ宜イデハナイカト云フ御話ガアラウカト思ヒマスガ、是ハ特別ノ立法ニ基クモノデナクシテ、普通ノ營業税法ノ規定ニ基イテ致スノデアリマスカラ、ソレ故ニ左様ナ結果ニ相成ッテ居ル次第デアリマス

○湯淺委員 私方繰返シテ質問致ス内容ニハ、此ノ營業税ノ徵稅内容ガ如何ニモ苛酷デアルコトヲ、此法律案ガ提出サレタノヲ機會トシテ、何トカ之ヲ救済シタイト云フ考カラ申上ゲルノデアリマスガ、御承知ノ通り營業税ハ數字ニ依ッテ見マスト、年々歳々豫算ヨリ非常ニ澤山殖エテ取ラレテ居ル、徵收サレル金額ハ確カナ數字ハ記憶致シマセスガ、過去二三年ノ例ニ例ッテ見デモ、四千三百萬圓ノ豫算ニ對シテ六千萬圓取ラレテ居ル、六千萬圓ニ變リマシタ時代ニ於テハ、確カ七八千萬圓ノモノガ取ラレテ居ルト思ヒマス、政府ガ其豫算高サヘ取レバ最早政務ノ施行ニ差支ナイモノト見込シタモノト思フ、然ルニ實際ニ於テ營業者ノ納メル金額ハ、ソレヨリ三割五割位ノ増加ヲ示シテ居ルコトガ、一年トカ或ハ偶、ト云フコトナラ別問題デアリマスガ、連年同ジヤウナ數字ヲ以テ進ンデ居ル、殊ニ昨年ハ所謂十三年度ノ實行豫算ノ編成ノ時ニ當リテ、所謂震災ニ依ッテ約五六百萬圓位ハ震災地ニ於テ營業税ハ減額スル見込デアッタモノガ、此度御提案ニナッテ豫算ヲ見マスト千三百萬圓増加シテ居ルト云フコトニナッテ居ル、是ハ甚ダ吾々ノ考及バナイ所デ、申スマデモナク一般ノ經濟界、一般ノ營業者ハ甚シキ不況ニ陥ッテ居ル、然ラバ營業税ハ減額スル筈デアルノニ、ソレガ増額シテ居ル理由ハ少シモ見出スコトガ出來ナイ、ソレニモ拘ラズ震災ニ依ッテ却テ千三百萬圓増加スルト云フコトハ、ドウシテモ常識カラ考ヘラレナイ、此結果ハ必ズ苛酷請求ヲ行ハナケレバ此數字ガ出ナイト思ヒマス、ソレ故

ニ非常ニ震災地ニ於ケル營業者ハ、現行ノ徵稅方法ニ付テ著シク疑懼ノ念ニ驅ラレテ居リマスカラ、此機會ニ於テ何トカ之ヲ救済スル策ハ、矢張此法律案ノ中ニ何分カノ條項ヲ挿入スルコトガ、必要デハナイカト考ヘマスカラ質問ヲ發シタ次第デアリマス、尙ホ此豫算案ヲ決定サレルマデノ間ニハ私ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ御意見ガアレバ承ッテ置キタイト思ヒマス

○黒田政府委員 豫算ニ見積リマシタ金額ダケラ取レバ宜イノデアル、ソレ以上取ル必要ハナイト云フ御意見デアリマシタガ、豫算ニ見積リマスコトハ、申上ゲルマデモナク御承知ト考ヘマスガ、凡ソドレ位本年度ニ於テ營業税ニ付テ申シマスレバ、營業税ノ收入ガアルデアラウカト云フコトニ付テハ、色々ナ事情カラ、或ハ前年度ノ數量、或ハ現在ノ經濟狀況等ニ照合シマシテ、サウシテ見積リ立テルノデアリマス、而モ其上ニ若シ此豫算ガ徵收不足デ、税ノ上ニ不足ヲスルヤウナコトガアルト、豫算ノ實行上ニ差支ヲ生ズルノデアリマスカラ、成ベク見積リ少ナクシテ誤リノナイヤウニスル、勿論足リナイカラト云ウテ税額ヲ餘計取ルト云ヘベ苛酷請求ニナリマスカラサウ云フ事ノナイヤウニ、又不足ヲシナイヤウニスルニハ、成ベク内輪ニ見積リテ置クコトガ安全ナ途デアリマスカラ、從來何割カラ減ジテ豫算ニ舉ゲテ置クガ、内部ニ於テハモウ少シ金ガ取レナイダラウカト云フヤウナ場合ニ於テモ、大事ヲ取ッテサウ云フヤウニナッテ居ルコト、承知シテ居リマス、ソレ故ニ是ダケノモノガ營業税カラ收入ガアレバソレデ

宜イト云フ意味ヲ以テ、見積ヲ立テタモノデナイコトハ御承知ノ事ト思ヒマス、昨年ノ震災後ニ於テ十二年度ノ實行豫算、十三年度ノ豫算ヲ見積ル時分ニ於テ、震災直後アリマシタ爲ニ、今日カラ見レバ洵ニ見込違フ致シタノデアリマスガ、其當時ニ於テハ平素ノ状態トハ違ヒマスノデ、非常ニ困難デアッタノデアリマス、ソレ故ニ前申スヤウナ趣旨カラシテ、成ベク大事ヲ取ツテ見積ッタ云フ爲ニ、實際ニ於キマシテハ營業者ノ歸ツテ來ル者ガ多カッタノデアリマス、ソレ故ニ税額ガ上ッタノデアリマスガ其中デ是ハ如何ニモ何カ苛斂誅求デモヤッタト云フ言葉モアリマシタガ、決シテサウ云フ趣旨デハ毫モアリマセヌ、吾々ハ常ニ其事ヲ申シテ居ッタノデアリマス、決シテ無理ノ行クヤウナ事トシテハイカスト云フコトハ、機會ガアル毎ニ申シテ居リマシタ、併シ此結果ニ付キマシテハ斯ウ云フ點ヲ一ツ能ク御了承ヲ願ヒタイ、此震災ノ激シカッタ東京ノ監督局ノ管内ニ於キマシテ、實際ニ當ツテ調べテ見マス、營業税ノ納税者ガ税額ニ對シマシテ、其六割五分ト云フモノハ法人デアッタノデアリマス、其法人ノ中デ而モ資本金額ヲ課税シテ居リマスル者ガ、四割六分ヲ占メルト云フ狀況デアッタ、是ガ吾々ノ少シ見込違ヘターツノ原因デアアル、法人ガ四割六分ヲ占メテ居リマシテ、是等ハ資本金額ヲ課税標準トシテ居リマスカラ、資本金額ガ變化ガナイト云フ結果、營業税額ノ減收ト云フモノガ割合ニ少ナクナカッタ、其他ノ個人ニ付キマシテハ、本所トカ、淺草トカ、或ハ深川トカト云フ風ナ所ニ於テハ七割近イ

減收ニナツテ、僅ニ三割一寸ノ課税ヲシテ居ル、其他ニ於キマシテモ五割内外ノ減收ト云フ結果ニナツテ居リマス、サウ云フ風ニ課税標準ガ豫算ニ依ルト二十一號ヲ適用致シマス所ニ於キマシテ、五割内外七割マデ減シマシタ、即チ三割若クハ四、五割課税ト云フコトニナツテ居リマス、ソレ故ニ全部見込ミマシタ所ノ減收ハ全ク吾々ノ見込違デアリマシテ、決シテ其課税上ニ於キマシテ、無理ヲ致シテ誅求ヲ致スト云フ風ナ考ハ斷ジテ持ツテ居リマセヌ、又サウ云フ事モナイコトト信ジテ居ル次第デアリマス

○湯淺委員 此震災地ニ於テハ無論營業税ハ前年ヨリ減額シテ居ルモノト心得テ居リマス、只今ノ仰セニ依ルト、或稅務署ハ五割モ減ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウスルト十三年度ノ豫算ニ御計上ニナリマシタ千三百萬圓ノ增收ト云フモノハ、震災地ヲ除イタル他ノ一般ノ營業者カラソレダケ餘計取レル譯デアリマスカ罹災地デ何程減リマシタカ

○黒田政府委員 ソレハ前申上ゲマスルヤウニ、罹災地ニ於ケル減收ヲ實ハ多ク見積リマシタ點ガ見込違デアッタデアリマス、前申スヤウニ法人ノ資本金額ト云フヤウナ所謂豫算ノ要求ニ致シマシテモ、賣上金額ト云フモノハ豫算ニ依ツテ減收シテ居リマス、資本金額ト云フモノガアッタ爲ニ非常ニ減收ガ減ツタノデアリマシテ、東京ノ管内ニ於キマシテモ、法人ト個人トノ間ニ著シキ相違ガアリマス、東京ノ監督局ノ全體ニ於キマシテ、個人ニ於キマシテ百五十萬圓餘リノ減收ニナツテ居ルノデアリマス、其他是等ヲ引キマシテ、他ノ局

ニ於キマシテ多少ノ増加ヲ來スト云フモノガアリマシタ爲ニ、今申スヤウナ結果ニ相成ツテ居ル次第デアリマス

○湯淺委員 大正十二年度ノ豫算ト十三年度豫算トヲ對照シマシテ、罹災地ニ於テドノ位ノ割合ニ營業税ハ減額ニナツテ居リマスカ

○黒田政府委員 十二年ノ實際ニ取リマシタモノニ比較シマシテ——十三年度ハ個人ニ於テ百五十萬圓デス

○湯淺委員 豫算ハ幾ラデス

○黒田政府委員 豫算ハ此震災後ニ於キマシテハ實ハ震災ノ影響ヲ受ケマシテ、歳入ニドウ云フ變化ヲ來スカト云フコトヲ考ヘマスル方法ト致シマシテ、震災地、震災地外ト云フモノヲ分ケテ豫算ヲ立ツテ見タノデアリマス、震災前ノ十二年度ノ豫算ナドヲ作リマス際ニ於テハ、東京管内ハ幾ラデアルカ、大阪管内ハ幾ラデアルカト云フ豫算ハ作リマセヌ、全體トシテ見マスモノデスカラ、東京局管内ノ十二年度ノ豫算額ト云フモノヲ作リマスコトハ、今日ハシナイノデアリマス

○湯淺委員 此十二年度ヨリハ十三年度ニハ、營業税ハ罹災地ニ於テ減額スルモノト御見込ニナツテ居リマスカ、或ハ減額シナイモノト御考ニナツテ、十三年度ノ豫算ヲ御編成ニナリマシタカ

○黒田政府委員 十三年度ノ豫算編成ヲシマス時ハ、震災地ハ昨年ノ十月、即チ震災ノ直後ニ於キマシテ豫算ヲ致シタノデアリマスカラ、震災地ニ於キマシテハ非常ニ減ズルモノデナйкаト云フ風ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、ソレデ十三年度ノ

豫算ハ、震災地ト震災地外ニ於キマシテ豫算ノ見
積ヲ立ツタノデアリマス、所ガ今申シマスヤウナ
結果デアリマシテ、震災地ニ於テ個人ニ於テ百五
十萬ノ減ト云フモノガ震災地ニ於テ現レマシタノ
デアリマス、尤モ是ハ震災地ト申シマシテハ少シ
語弊ガアルノデアリマス、東京局管内デアリマス
カラ、必ズシモ震災地ノミニ限ラナイノデアリマ
ス、震災ノ比較的少カッタ府縣ヲモ包含致シテ居
ルノデアリマス、群馬、茨城、栃木、山梨、千葉
總テノ方面ガ這入ッテ居リマスカラ、サウ云フモ
ノヲ包含致シマシテ、丁度百五十萬圓減收ニナッ
テ居リマス、東京、神奈川トニ於キマシテハ尙ホ
ソレ以上ノ減收ニ相成ル次第デアリマス、ソレ故
ニ此震災ノ激シカッタ地方ヲ見マストモト多イノ
デアリマシテ、東京市ダケデ百四十萬以上ノ減
ニナッテ居リマス、神奈川縣デ三十四萬以上ノ減
ニナッテ居リマス、東市府デ以テ百三十萬圓ト云
フコトデアリマスルカラ、是等ガ其他ノ震災ニ

却テ震災地方ニ物資ヲ供給致シタリ致シタ、
其附近ノ府縣ニ於テ幾分増收ガアツタ爲ニ、差引
總勘定デ百五十萬圓ノ減ト云フ結果ニナッテ居リ
マス、震災地ト云フ東京神奈川ニ就テ見マスト云
フト、今申スヤウニ三百萬餘ノ減收ニナッテ居ル
次第デアリマス

○湯淺委員 サウ致シマスト十三年度豫算ニ、前
年度ノ豫算ヨリ營業稅ノ收入ガ千三百萬圓多ク見
積ッテアリマスノハ、即チ震災地ニ於ケル約三百
萬圓ノ所謂營業稅ノ減額ヲ見積リ、尙ホ其上ニ千
三百萬圓ト云フコトニナリマスカラ、震災地以外

ノ一般地方ノ營業稅ガ、ソレダケ増シタト見テ差
支ゴザイマセヌカ

○黒田政府委員 豫算ニ對シマシテハ左様ナ結果
ニ相成リマス

○湯淺委員 ソコヲ私共ガ言フノデス、成程豫算
デアリマスルカラ、必ズシモ實算ト一致スルモノ
デアルトハ心得マセヌケレドモ、併シ凡ソ近寄ッ
タル豫算ハ御編成ニナラナケレバナラヌト思ヒマ
ス、而モソレガ先刻申シマシタヤウニ一回二回ナ
ラバ兎ニ角デアルケレドモ、此所三四年ヲ通ジマ
シテ殆ド同ジ割合デ、而モ三割以上ノ實收ガ増加
シテ居ルト云フコトハ、ドノ點カラ考ヘテ見マシ
テモ、私ハ大藏省ノ御趣意トハ違ッテ、親ノ心子
知ラズ——所謂地方稅務官吏ガ苛斂誅求ヲ行フニ
非ザレバ、此結果ガ得ラレナイト思フノデアリマ
スカラ、之ニ對シテハ昨年ノ二月所謂營業稅法ノ
改正ニナリマシタ際ニ、吾々ノ同僚カラモ嚴シク
御警告ヲ申上ゲテ、相當ノ手續ヲ執ッテ裁イタ管
デゴザイマスケレドモ、實際ハ今日マデ其效果ガ
現レテ居ナイノデアリマス、ソレ故ニ私ハヤカマ
シク言フノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマ
ス

○磯部委員長 ソレデハ質疑ハ此前終ッタ管デゴ
ザイマスガ、是ヨリ討論ニ移リマス

○湯淺委員 私ハ唯々此際本問題ハ已ムヲ得ザル
コト、心得テ贊成ヲ致シマスケレドモ、御注意ダケ
申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ質問ニ於テ繰返シ
テ申上ゲマシタ通り、事實ニ於テハ營業稅ノ徵收
ニ對シテ常ニ苛斂誅求ノ憾ガアルノデアリマスカ

ラ、之ニ對シテ其弊ヲ除クガ爲ニ、大藏當局ニ於
テハ十二分ノ御調査ヲ爲サレテ、相當ノ方法ヲ執
ラレンコトヲ御注意申上ゲマス

○磯部委員長 ソレデハ是デ討論ハ終結致シマシ
テ、皆サン御贊成デゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○磯部委員長 ソレデハ震災被害地ノ地租免除等
ニ關スル法律案、震災ニ因リ地租ヲ免除セラル
者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案、此二
案ハ可決、震災被害者ノ營業稅課稅標準等ニ關ス
ル件、即チ勅令第二十一號ハ承諾ヲ與フルコトニ
議決致シマシタ、是デ本委員會ヲ閉ヂマス

午後一時五十五分散會

大正十三年七月十五日印刷

大正十三年七月十七日發行

衆議院 事務局

印刷者 印刷局